

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 3年次生 前田 詩奈

1. はじめに

この度、国際交流基金の助成により 2021年3月9日から30日の約4週間、韓国のベストフレンド語学学校のオンライン留学プログラムに参加したので、報告させていただきます。

2. 語学学校

約4週間で計20時間の授業をマンツーマンで受けました。基礎的な文法をはじめ、スピーキング、教科書に載っていないような言い回しなどを学びました。授業で学んだ文法や単語などを、積極的に先生との会話に組み込むことで、実践的に韓国語を学習することができました。また、自分から話しかけることの重要性や、どれだけ言語が通じなくても、話そうとする気持ちがあれば相手も理解しようと思ってくれることがわかりました。韓国語の授業を通じて、言語だけでなく、日常生活に必要なコミュニケーション力や相手を思いやる気持ちについても学ぶことができました。韓国語は、発音や文法が日本語と似ているので、学びやすかったです。これまで独学で韓国語を勉強していたので、間違いや抜けが多かったのですが、先生が逐一訂正してくださり、更に韓国語が上達したと感じました。また、普段ではネイティブスピーカーの方と話す機会はあまりないので、日本語には無い発音を正しく教えていただき、誤りも訂正して頂けてとても嬉しかったです。

3. 終わりに

新型コロナウイルスの影響により、現地に留学できなかったのは残念でしたが、今回のオンライン留学で貴重な経験ができたと思います。現地に行けなくともオンラインで他国の人々と繋がれることは、とてもすごいことだと感じました。新型コロナウイルスの影響で、家にいる時間が多くなり退屈な日々が続いていたところでオンライン留学に申し込もうと思いましたが、新しいことにチャレンジすることはとても大事だと感じました。大学入学後、専門的な勉強が多く、他言語に触れる機会が他の大学生より少ないと感じていましたが、今回の留学プログラムを通じて、とてもいい経験ができたと思います。薬学の勉強もしつつ異文化理解をしたい・いろいろな言語を習得したいという気持ちがあったので、とてもいい機会となりました。